

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより

新年度のあいさつ

施設長 尾上秀夫

昨年度は当センターの事業に対して、様々なご支援を賜り、ありがとうございました。昨年度も色々なことがありました。

1. 平成29年4月の時点ではすべての職員を配置した状態でスタートしました(正職員8名、常勤嘱託2名、非常勤職員3名)。

しかし、平成29年9月末に手話通訳派遣コーディネーター(正職員)が退職し、代替りの職員を募集しましたが(8月、11月、1月)、応募者がいない状況が続きました。4回目の選考会3月22日で漸く職員を確保することができ、平成30年4月のスタート時点ではすべての職員を配置する体制を作ることができました。

職員の確保にあたって、多方面にわたりご協力をいただきました。この紙面をお借りし、お礼を申し上げます。

2. 今年度も「川崎市手話通訳者派遣事業実施要綱」「川崎市要約筆記者派遣事業実施要綱」が改訂され(平成30年4月1日施行)、指定管理者への報告等(反省も含む)の時間(15分)を通訳時間として加算するといったニュースがありました。

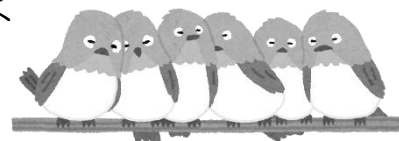
直近の制度改善は以下の通りです。

- ①第3期指定管理(平成28年度～平成32年度)の指定管理料の大幅な増額(正職員3名分の人件費が上乘せされた)
- ②「川崎市緊急手話通訳者派遣事業」の派遣費の改善(平成29年4月1日施行)
- ③「川崎市要約筆記者派遣事業」のパソコンによる要約筆記を行った場合の機器使用料(パソコン)の支給(平成29年4月1日施行)

川崎市の聴覚障害者福祉の歴史を顧みると、3年連続の制度改善はこれまでもないことです。制度改善につながった理由は色々ありますが、なによりも川崎市行政の積極的なご理解・ご支援があったからこそです。この紙面をお借りし、お礼を申し上げます。

以上の通り、紙面に書き尽くせないほど色々なことがあり、昨年度もバタバタした1年でありましたが、今年度も引き続き、川崎市行政をはじめ、当事者団体、関係団体等と緊密な連携を図りながら、聴覚障害者福祉の向上を図るために頑張りたいと思います。

どうぞよろしく
お願いいたします。



● センター運営委員会 ●

3月30日(金)18時半より、センター運営委員会を開催しました。主な内容は、平成30年度の事業計画、予算書の報告です。

事業計画については、職員体制の変化に伴い、手話派遣コーディネーターの身体的・精神的負担が大きくなることが予想されることと、欠員になっていた派遣コーディネーターが新規に採用されることを報告しました。そのような中でもこれまで実施している事業を引き続き実施し、安定した施設運営を目指すという内容です。

予算書については、参加者増を目指して、講座チラシの外注のための増額などの報告をしました。

委員の方からは、養成講座の講師への交通費、講師の増員などの要望が出ていました。石山委員長からは、障害者福祉について重要視されていないのではないかと苦言も出されました。

今回は5月31日(木)18時半より開催します。平成29年度の事業報告、決算報告が議題となります。委員の方は2年間の任期が終わり、続行する委員、交替する委員がいらっしゃると思います。

平成30年度 第11回センターまつり予告

日時：平成30年5月27日（日）10時～15時
場所：川崎市聴覚障害者情報文化センター
川崎市国際交流センター（特別講演会）

前回のセンターだよりで、センターまつりの開催についてお知らせいたしました。今回は、13時から15時に川崎市国際交流センターホールで予定されている特別講演会の内容を紹介いたします。

テーマ：多様性を認める社会を目指して
聴覚障害議員の活躍
～議員活動における情報保障や制約を取り除くためのアプローチなど～
講師：東京都北区議会議員 斉藤りえ氏
埼玉県戸田市議会議員 佐藤太信氏

講演内容：聴覚障害議員はこれまでに4人誕生しています。2001年長野県白馬村に初めての聴覚障害議員が誕生しました。



それから2016年東京都北区・兵庫県明石市で、2017年埼玉県戸田市で現職の聴覚障害議員が当選しています。今回の講師である斉藤議員・佐藤議員に、議員活動における情報保障や制約を取り除くためのアプローチなどを話していただきます。講演を通して、聴覚障害に対する必要な配慮や課題等をともに考えていきませんか。

特別講演会のほか、補聴器相談、弁護士相談、医療相談・情報提供コーナー、聴覚障害者福祉機器展、センター事業・協力団体の展示コーナー、手話・要約筆記体験コーナー、手話ダンス、作品展、災害対策コーナー、ハザー、聴覚障害関係の書籍販売、模擬店、テフ・パペットシアター・ひとみのパフォーマンス企画を予定しています。

授乳・おむつ替え等可能なベビー休憩室もご用意しております。皆さまのご参加をお待ちしております！

● 関東ろうあ者相談員連絡会 ●

3月9日（金）、今年度最後となる、関東ろうあ者相談員連絡会に参加しました。「意思決定（意思形成）支援」というテーマで、4つの事例について学習しました。

聴覚障害者の意思決定について支援するというのは、相談員業務の中核にあたると言えます。いわゆる情報保障＝意思疎通（コミュニケーション）支援のみでは、うまく行かないケースが多々あり、そのような場面こそ相談員の出番です。ご本人の意思を尊重しながら、丁寧に関わっていくことが求められていると思います。学習を積み重ね、より良い支援ができるよう研鑽していきたいと思います。

● 平成29年度 第3ブロック研修の報告 ●

2月6日（火）、千葉聴覚障害者情報センターで平成29年度特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会第3ブロック研修がありました。

午前中は慶応義塾大学特任教授川森雅仁氏による講演「電話リレーサービスを制度とするにあたっての勉強会（海外の政策と日本の課題）」。

午後には施設長、管理職が出席する分科会と派遣コーディネーターの分科会とに分かれ、情報交換を行いました。日本ではモデルプロジェクトに留まっている電話リレーサービスですが、諸外国では手話、文字、音声対応の方法にバリエーションがあり、リレー

サービスユーザーに聴者が電話をかけると自動的にサービスにつながり、ろう者がろう者に電話をかけるとサービスにはつながらず直接やりとりができるなどサービスが充実していく方向にあります。

経済面、技術面以上に、日本において壁となっている課題は何かということを確認し、早急に取り組むべき問題として制度化に向けた動きを注視したいと思いました。



● 中原区民車座集会出现 ●

3月18日（日）中原区役所にて開催された、中原区民車座集会出现「地域防災力の強化について」に参加し、聴覚障害者に関わる災害対策の取り組みについて発表しました。中原区民車座集会出现の意見概要・摘録、当日の様子が下記URL先に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

意見概要・摘録 <http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000087756.html>

当日の様子 <https://www.youtube.com/watch?v=CyBkTZSl0HU>

● 要約筆記者養成講座修了・
全国統一要約筆記者認定試験結果 ●

ほぼ丸1年という長丁場の要約筆記者養成講座が終了し、受講生の皆さまが全国要約筆記者認定試験に臨みました。

今年は、手書き5名、パソコン2名の方が合格されました。おめでとうございます。さっそく4月から新登録研修を行いました。惜しくも不合格だった方々には、今年度の要約筆記者養成講座にオブザーバーで参加していただくことが出来る体制としております。引き続き要約筆記者を目指していただけたらと考えております。

要約筆記者の養成に関しては、毎年合格者を輩出しているものの、一方で辞退される登録者の方もあり、なかなか登録者の実数が伸びません。

特にPC要約筆記については需要が多く、PC要約筆記派遣のお申込みをいただきながらも、人数が揃わないことから、やむなく手書きで対応している現状があり、ご利用者のニーズに答えきれていないという点が課題となっています。

● 手話通訳者養成講座 通訳Ⅰ・通訳Ⅱ修了 ●

昨年5月にスタートした手話通訳者養成講座〈通訳Ⅱ〉は12月16日に12名の方が修了されました。また、手話通訳者養成講座〈通訳Ⅰ〉は2月24日に10名の方が修了されました。講師をはじめ、ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

新年度の講座は〈入門編〉2コースと〈通訳Ⅱ〉が5月より新たにスタートします。

地域のろう協・手話サークル活動で交流を深めつつ講座にも応募していただき、通訳者を目指してくださるよう願っています。

● 平成29年度手話通訳者全国統一試験結果と
資格認定委員会報告 ●

3月10日に手話通訳者資格認定委員会を開催、「平成29年度手話通訳者全国統一試験」(7名受験)合格者3名『手話通訳者B』の認定と、手話通訳士有資格者1名『手話通訳者A』の認定を行いました。

平成30年度は『手話通訳者A』、『手話通訳者B』それぞれの再登録者2名を加え、6名の方が「新登録者研修(4月7日・14日・21日)」を受け、平成30年度登録手話通訳活動の仲間に加わっていただきます。

今回合格とならなかった皆様も、市・各区ろう協行事への参加、手話サークル活動の中で多くのろう

う者の手話に触れ、試験に再挑戦して下さることを資格認定委員他一同願っています。(手話通訳者全国統一試験の合格率は全国12.89%でした。)



● センター見学 ●

4月3日(火)に中原警察署の新人警察官3名と引率1名の計4名様、4月13日(金)に川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害福祉課の方が見学にいらっしやいました。新人警察官より頂いた感想文から、今後聴覚障害者と接する時にこの見学の経験を生かして下さると感じました。

もし当センターに興味をお持ちの方は、ぜひ見学にいらしてください。随時受付しておりますので、ご希望される方は当センターまでご連絡ください。お待ちしております。

● 新職員紹介 ●

今年度4月からセンターの職員になりました、小畑梓(おばたあずさ)です。手話通訳派遣コーディネートを担当させていただきます。5月から神奈川県に引っ越してきて、一人暮らしを始めました。まだまだ不慣れなことも多く皆様にご迷惑をかけてばかりですが、たくさんの方の事を吸収し、すこしでも早くお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いたします。



ビデオ通信 65

●センターよりお知らせ



貸出ベスト5

(平成30年1月1日から平成30年4月30日現在)

順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	78本
2位	手話学習	8本
3位	映画・ドラマ	それぞれ5本
4位	記録・報道、教育・教材、手話・CS放送	3本
5位	趣味・教養	2本

●データ紹介

	1月	2月	3月	合計
来所者数	1,329	1,122	1,703	4,154
ビデオ貸出数	38 (30)	42 (33)	23 (15)	103 (78)

※ビデオ貸出数の下の()内の数は、センター制作分の貸出数です。

●HPに掲載したい手話及び要約筆記の勉強会や講習会の情報がありましたら、ご一報ください。

HPのアドレス <http://www.joubun.net/>

☆積極的な情報提供、お待ちしております。☆

●平成29年度後期映像ライブラリー共同事業作品、厚生労働省委託事業作品(手話入り映像ライブラリー)が納品されました。共同事業作品はタイトル数で14本になります。内容は、ろうを生きる・難聴を生きるシリーズ、プラタモリ、ファミリーヒストリー、盲ろう児の教育、ドラマ東京タラレバ娘など。厚生労働省委託事業作品は、16本です。内容は、ハートネットTV、認知症キャンペーン、きょうの健康、手話どうぶつ図鑑など。

<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝祭日です。
月曜日が祝祭日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(■ 休館日)

平成30年5月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

平成30年6月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

平成30年7月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

平成30年8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
27	27	28	29	30	31	



【編集後記】

川崎市を通る鉄道と言えば、ズバリJR南武線ですね。他にも小田急、京王、東急、JR東海道新幹線、JR横須賀線がありますが、川崎市の北(西?)から南(東?)を綺麗に縦断しているのは、この南武線以外にありません。終点は川崎駅となっていますが、もうひとつ南武線支線の浜川崎という駅があります。「川崎」という名前が付いていて、駅の落差が激しいのはここだけではないでしょうか。浜川崎駅は昭和ながらの雰囲気味わえるスポットとなっております。(O.S)

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用下さい。



ツイッター 時々つぶやいています☆

<https://twitter.com/DKawasakiJoubun>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/Dkawasakijoubun>